藤 中 だ よ り

Ｒ６　宇部市立藤山中学校だより
令和６年5月１６日発行
宇部市文京町10番50号　0836-31-0075

藤山中2024年　新学年での活動スタート

新年度が始まり一ヵ月あまりが過ぎました。各学年とも学校生活に慣れ、明るく前向きに活動しています。各教科の授業にも集中して取り組んでおり、落ち着いた学校生活を送っています。生徒の学習活動に加え、保護者や地域の皆様との交流も進んでいます。今年度も学校目標である、「自ら学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」を推進していきます。

1学期の体験学習＜校外＞の予定

今学期の大きな学校行事として、校外での体験学習があります。いよいよ来週に実施です。

◇１年生　「自然教室」１日目　５月２８日（火）（藤山中学校）教育プログラム
　　２日目　５月２９日（水）（徳地少年自然の家）野外炊飯
◇２年生　「社会見学」　５月２８日（火）（山口大学）
◇３年生　「修学旅行」　５月２６日（日）～２８日（火）（京阪神方面）

★第１回学校運営協議会での熟議

４月３０日（火）放課後、本年度１回目の学校運営協議会が開催されました。今回は、学校運営協議会の委員の皆様や教職員に加えて、生徒会執行部のメンバーが、「知・徳・体」の各部会に分かれて熟議に参加しました。生徒が主体的に興味を持ちながら学習できるための工夫や、地域への情報発信の充実、学校を中心として地域全体に広がるような体力づくりなどについて協議が進み、実現可能な取組について検討していくことを確認しました。生徒が地域の一員としての自覚を高めることができる貴重な協議会となりました。

★育友会総会が開催されました

５月１１日（土）は休日参観授業を実施した後、保護者の皆様による育友会総会が開催され、全学年の保護者の皆様と育友会役員の皆様、教職員が一堂に会して協議することができました。

保護者の皆様が学校の様々な教育活動に対して気軽に参加いただけるような提案が承認されました。また、生徒の地域貢献活動の様子をまとめた動画を見ていただくこともできました。これからも育友会の活動を通して、お子様の成長を見守っていただきながら、教育活動へのご支援をいただけるよう様々な取組を推進していきます。

★「藤山ヤング自治会」の活動

本年度の「ヤング自治会」の活動がスタートしました。本年度は、「自分たちの生活する地域の防災」をテーマに学校で協議し、９月の防災キャンプに向けた活動を進めていくこととなりました。これらの生徒のアイディアを地域の皆様にお伝えして、共に活動していくために、本年度も年度当初の藤山校区と鵜ノ島校区の自治会総会に参加させていただき、各地区の自治会長さんを前に、代表生徒がヤング自治会の活動について紹介することができました。

今後も生徒が地域に貢献するとともに、地域の皆様にも生徒を見守り育てていただけるような活動を継続します。

★厚東川の日★　　～SDGｓへの取組～

　本校では、５月１０日を「厚東川の日」と設定して、厚東川周辺の清掃活動を毎年行っています。本校生徒と共に、藤山小学校、鵜ノ島小学校の児童も清掃活動に取り組みました。１年生は学校周辺の通学路で作業しました。２年生は学校周囲の側溝清掃などに取り組んだほか、岩鼻公園などを清掃しました。３年生は新琴川橋付近や、中川河口周辺で作業をしました。限られた時間内で生徒は懸命に活動し、達成感を得ることができたようです。今後もSDGsの視点から、中学校だけでなく、小学校や地域とも連携しながら、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでいきたいと思います。

★交通教室が実施されました

　５月１４日（火）の午後、１年生を対象に交通教室を実施しました。中学生になり、自転車の利用などで行動範囲が広くなっていることもあり、正しい交通ルールやマナーを身に付けて安全に移動するための講義を受けました。前半はグラウンドで指導員の方の実演によるルールの確認などが行われ、後半は体育館で交通ルールなどについての講習がありました。生徒は各自が真剣に確認していました。

　４月から自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化となり、中学生以外でもヘルメットを着用される方が増えてきました。「指導されないため」ではなく、「自分の命を守るため」にルールを守り、常に交通安全を意識してほしいと思います。

藤山中学校図書館　一般開放情報　　令和６年　６月

曜日	開　館　日（１２：３０～１６：３０開館）
月	３　・　１０　・　１７
火	４　・　１１　・　１８　・　２５
水	
木	６　・　１３　・　２０
金	１４　　２８

司書今月のおすすめbook

ほたるの星　　**宗田 理　著**　　**913ｿ**

今年4月に逝去された宗田理氏は、『ぼくらの七日間戦争』をはじめとするぼくらシリーズが学校図書館で人気の作家です。本作は、山口県が舞台の物語。吉田松陰に感銘し、希望に燃えて赴任してきた東京生まれの三輪元（みわはじめ）。バラバラな子どもたち、目先のことしか考えていない保護者や教員たち。ある日、元はふと子どもたちにほたるを川に飛ばそうと提案します。ほたるを卵から育てきれいになった川に飛ばす。子どもたちはその夢に本気で取り組みます。最初は非協力的だった周囲の大人たちでしたが、困難を乗り越え、そして…。2004 年公開映画『ほたるの星』の原作小説。